

平成 23 年 12 月 17 日(土)

### 第三回津谷大沢区震災復興会議

## 議 事 録

議 題	第三回 津谷大沢区 震災復興会議	日にち	平成 23 年 12 月 17 日
		時 間	19:00 ~ 21:00
場 所	新しい公共の場大沢事務所	参加者	・津谷大沢区振興会 18名 ・公共の場づくり協議会、 グラウンドワーク 4名

参考資料	○「復興のテーマ、計画の目標・柱について」(プレゼンテーション) ○「復興計画地図」(みなさんの想いを地図に落としこみましょう)
会議事項 及び 話し合い の 結果	<p>○復興イベント『がんばっぺな大沢！望念会』の様子報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・みんなが一つの輪になり、大沢の復興に向けてがんばっていくことを再確認できた。</li><li>・来年度もみんなの気持ちがあつになるようなイベントの開催を続けていく。</li></ul> <p>○アンケートの結果まとめ</p> <p>○復興のテーマと計画の目標・柱について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前回までの結果を踏まえ決定した内容の報告(村中理事長)</li><li>・計画の立案に合わせ必要に応じて見直していく。</li><li>・決定した3つの目標をしっかりと押さえること。</li><li>・ハード面とソフト面の足並みをそろえることも大事。</li><li>・1月の復興会議で意見をまとめ、2月に全体の中間報告会及び意見交換会を予定。</li></ul> <p>○復興計画地図</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3グループに分かれ前回記入していただいた内容をベースに、さらに必要なことを地図に落とし発表してもらった。</li><li>・三陸縦貫自動車道の延伸ルートに合わせた復興計画づくりが必要。</li><li>・大沢の漁業の10、15年後の後継者の問題は大きい。若い人につながる新しい漁業を。</li></ul> <p>○その他</p> <p>① 仮設集会所建設工事の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・完成は予定より1か月ほど遅れる見込みであり、来年の1月末。</li></ul> <p>② 仮設住宅でお正月を迎える方々への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・振興会より鏡餅をお届けすることで決定。</li></ul> <p>③ 被災記録作成のための訪問聞き取りの延期について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・福岡教育大学の井上教授と学生十数名の協力で行うヒアリングの日程を2月後半に延期。</li></ul> <p>④ 平成23年度農林水産省補助事業について(説明:斎藤専務)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・11月30日に企画書を提出済み。</li><li>・申し込み多数につき限度額500万が370万円ほどになる見込みである。</li></ul>
その他	○次回の復興会議は1月21日(土)19:00~



# 復興のテーマ、計画の目標・柱 について整理しましょう

- 本題に入る前に12月4日『がんばっぺな大沢・望念会』の様子を  
みんなで一つの輪になって、  
大沢の復興に向けてがんばっていくことを確認しました
- 11月27日に復興のテーマ、計画の目標・柱について  
話し合いました  
その後の話し合いを踏まえ、定めたいと思います

平成23年12月17日

復興に向けた新しい公共の場づくり協議会



# 『がんばっぺな大沢・望念会』、 復興を目指して気持ちが一いつになることです

11月30日から準備に入りました





# 前日の大雨もあり、当日は早い時間から準備に入りました





**玉こんにゃく煮、やきとり、塩むすび、サケの燻製などのほか、蜜柑やお菓子、飲み物が配られ、  
演芸をみんなで楽しみました**





みんなで一つの輪になって踊り、そしてこれから「がんばっぺな」と  
気持ちがひとつになった瞬間です





# アンケートのご意見・提案では・・・ 主なものを紹介します

- 自分たちの生活の場を確実にすることが先ず私たちの復興・土地のかさ上げなどにより安心して暮らせるように・家を建てたい
- 漁港の早期整備・漁業の再開・被災農地には河川の改修が必要
- 45号・鉄道などの今後のルート及び方針等の早い提示

- 1日も早く元の生活に戻る・被災者の方々が安全安心に過ごせるような地域を目指す
- 道路(大沢橋)・鉄道の早期復旧・市営大沢住宅の修繕
- 漁港の早期復旧・大沢漁港のかさ上げ・船揚場の整備
- 高台に避難所・集会所の整備
- お不動様などの史跡の復元・慰霊碑の建立・津波到達地点の表示
- 被災地の利用については30～50年先を見据えて・以前の大沢以上の地域に復旧・復興
- 震災前と同じようにつながりの強いコミュニティ・年間を通したイベント・支え合う地域住民に
- 大沢区全体の意見交換・仮設入居者を招いてお茶のみ会の開催・真意を聞くアンケートまたは聞き取り

- 大沢河口への堤防の設置・国道45号のかさ上げ・旧道のかさ上げ・漁港に通じるガードを通行止めとし新たな道路の新設・ドライブインから漁港に通じる河川擁壁のかさ上げ
- JR気仙沼線の線路のかさ上げまたはルート変更

- 被害状況の標識建立

- 船揚場の新設
- 漁業の共同化
- 防波堤内側を仕切ってウニの蓄養・ナマコの養殖

# 11月27日にみなさんからいただいた想いです





# 青い海と緑の大地、 再起し躍進する大沢

## 目標1

乳幼児から高齢者  
まで安全で安心して  
暮らせる家とまち

### 計画の柱1

全ての住民  
が穏やかに  
暮らせる防  
災力の高い  
地域づくり

### 計画の柱2

利便性が増  
し、いつま  
でも住み続  
けたくなる  
まちづくり

## 目標2

地域資源を活かし  
希望を持って働ける  
安定した仕事の場

### 計画の柱3

働く場の復  
活再生とこ  
の地ならで  
はの新しい  
仕事づくり

## 目標3

自然と文化に誇りを  
持ち助け合って過ご  
すコミュニティ

### 計画の柱4

自然環境と  
伝統文化に  
誇りを持て  
るふるさと  
づくり

### 計画の柱5

みんなが支  
え合いやさ  
しさに包ま  
れたコミュニ  
ティづくり





青い海と緑の大地、再起し躍進する大沢

- 目標1 乳幼児から高齢者まで安全で安心して暮らせる家とまち
  - 目標2 地域資源を活かし希望を持って働ける安定した仕事の場
  - 目標3 自然と文化に誇りをもち助け合って過ごすコミュニティ
- 計画の柱1 全ての住民が穏やかに暮らせる防災力の高い地域づくり
- 計画の柱2 利便性が増し、いつまでも住み続けられたくなるまちづくり
- 計画の柱3 働く場の復活再生とこの地ならではの新しい仕事づくり
- 計画の柱4 自然環境と伝統文化に誇りを持って暮らすことづくり
- 計画の柱5 みんなが支え合いやさしさに包まれたコミュニティづくり

避難看板  
避難所を明確に表示(数か所)

大沢橋の復旧  
国道45号大沢橋付近の道路の嵩上げ

集会施設の建設

不動明王の復元(磐午天王)

JR気仙沼線の嵩上げと復旧

住宅用地

旧道(市道)の嵩上げ

馬場前の護岸

町道久喜住宅線の開設

直売所開設

開門式の水門

陸上養殖公園(海浜)

谷長根

漁港施設の嵩上げ

漁港集荷所の建築

船揚場の整備

二軒茶屋前町道拡幅

船揚場への道路の整備

番屋建設

本吉町風越

ソレイユの崖の整備

マリノバージョン構想の再検討  
大沢沖→歌津先防波堤

農地海岸の護岸嵩上げと新設

被災住宅跡地の開発計画

